

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●桜花賞はグランアレグリアが記録でV

4月7日(日)に行われた桜花賞(G I)ではグランアレグリア(牝3歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝しました。勝ちタイム1分32秒7は、昨年アーモンドアイが記録した1分33秒1を更新する桜花賞記録。またグランアレグリアは昨年の朝日杯フューチュリティS以来の出走で、年明け初戦の馬が桜花賞を制するのは史上初めてのこととなります。

### ●長谷川浩大調教師がJRA初勝利をあげる

4月6日(土)の1回福島1日・第9レースではリリーメーカーが1着となり、同馬を管理する長谷川浩大調教師(栗東)はJRA初勝利をあげました。3月2日(土)の初出走から数えて延べ16頭目での初勝利となります。

### ●木村哲也調教師が通算200勝、大塚海渡騎手はJRA初勝利

4月7日(日)の3回中山6日・第12レースではリモンディが1着となり、同馬を管理する木村哲也調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(延べ1668頭目)を達成しました。またこの勝利は、同馬に騎乗した大塚海渡騎手(美浦・木村哲也厩舎)にとってJRA初勝利(25戦目)となりました。今年JRA競馬学校騎手課程を卒業した新人ジョッキーとしては5人目の初勝利となります。

### ●ヴィブロスとミスパンテルの競走馬登録抹消

2016年秋華賞(G I)や2017年ドバイターフ(UAE・G I)の勝ち馬ヴィブロス(牝6歳/栗東・友道康夫厩舎)は、4月10日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績13戦3勝・海外4戦1勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。2018年サンケイスポーツ杯阪神牝馬S(G II)などの勝ち馬ミスパンテル(牝5歳/栗東・昆貢厩舎)も4月10日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は14戦6勝で、今後は北海道浦河町の辻牧場で繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●東京スプリント(大井)は船橋のキタサンミカヅキが優勝

東京スプリント(Jpn III、4月10日、大井、1200m)は、2番手から残り100mを切った辺りで先頭に立った4番人気の船橋所属馬キタサンミカヅキ(森泰斗騎手、牡9歳、父キングヘイロー)が優勝。藤田菜七子騎手騎乗で2番人気に推されたコパノキッキングは、出遅れて後方から追い上げたものの、逃げた1番人気のヒロシゲゴールドを捉えての2着がやっとでテーオーヘリオスは5着、3番人気のホウショウナウは7着、アジャカダイキは10着でした。

### ●あやめ賞(水沢)は人気のエムワンピーコ【各地の主要3歳重賞】

あやめ賞(4月7日、水沢、1400m、牝馬)は、中団から差を詰めたエムワンピーコ(父プリササイズエンド)がゴール寸前で差し切り、単勝1.6倍の支持に応えてデビュー2戦目から5連勝。ル・プランタン賞(4月7日、佐賀、1800m、牝馬)は、3番手を進んだ2番人気のスーパージンガ(父バンブーエール)が、逃げた単勝1.8倍で1番人気の高知からの遠征馬ナンヨーオボロヅキを3コーナーで交わして4馬身引き離し、花吹雪賞に次ぐ重賞制覇を果たしています。

### ●リエノテソーロらが出走、4月17日のマリーンC(船橋)

マリーンC(Jpn III、4月17日、船橋、1600m)は、リエノテソーロが中心、以下オウケンビリーヴ、アイアンテラー、初距離が鍵となるゴールドクイーンの順に有力視されますが、展開等からオルクスリアン(船橋)ら地方勢が浮上する可能性もあります。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1 ドンカスターマイル〜クルーガーは4着

4月6日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われたG1ドンカスターマイル(3歳上、芝1600m)に日本からT.ベリー騎手を背に出走したクルーガー(牡7歳、53kg、栗東・高野友和厩舎)は中団追走から直線でもよく伸びましたが4着でした。勝ったのは地元の3歳馬ブルータル(牡3歳、父オライリー、49.5kg、M&W&J.ホークス厩舎)。外枠(外から3番目)からのスタートでしたが、ずっと2番手につけると、逃げたドリームフォース(53.5kg)を直線で交わして1馬身差で優勝しました。重馬場の勝ちタイムは1分37秒65。ブルータルは前走3月23日のG1ジョージライダーSでウィンクスの3.5馬身差2着でした。

### ●G1 サンタアニタダービー〜ロードスターが差し切る

アメリカ西海岸の3歳馬代表を決めるG1サンタアニタダービー(3歳、ダート1800m)が4月6日にサンタアニタパーク競馬場で行われ、6頭立ての5番手でレースを進めたロードスター(牡3歳、父クオリティロード、B.バファート厩舎)が同じバファート厩舎の米最優秀2歳牡馬ゲームウィナーを差し切って優勝。重賞初制覇を果たしました。